

少年サッカー (U-12) の 8 人制サッカーについて
—大阪府北河内地区の指導者たちの意見に着目して—

河野 良平 (生涯スポーツ学科 地域スポーツコース)
指導教員 菅井 京子

キーワード：少年サッカー，8人制，指導者

序論

JFA (日本サッカー協会) は、日本サッカーが飛躍するために U-12 年代 (小学生) の指導法の重要性を主張している。2011 年度から全日本少年サッカー大会を 11 人制サッカーから 8 人制サッカーにすることを決定した。それから数年経つが、指導者の中には反対の考えを持っている人もいようだ。本研究の目的は、少年サッカー

(U-12) の 8 人制サッカーについて、そのメリットとデメリット、およびそれらを踏まえた指導を明らかにすることである。方法としてはまず、JFA の主張から 8 人制サッカーのメリットを整理し、さらに大阪府サッカー協会に加盟している大阪府北河内地区 56 チームのうち、12 チームの指導者たちに 8 人制サッカーについての意見をインタビューし、メリットとデメリット、それらを踏まえた指導について調査する。そしてそれらの結果を考察し、今後の少年サッカー (U-12) 指導の向上のための資料を得る。

1. JFA が主張する 8 人制サッカー

8 人制サッカー、スモールサイドゲーム (少人数制サッカー) は日本よりもヨーロッパでさきに導入されていた。日本では 2011 年度の全日本少年サッカー大会から全国的に 8 人制サッカーが取り入れられた。8 人制サッカーとは、競技者を 11 人から 8 人に絞ることで必然的にボールに触る回数、プレーにかかわる回数が大きく増加する。サッカーにおいて U-12 年代 (小学生) はゴールデンエイジと呼ばれ、この時期の技術向上は著しいのである。このようにして子どもたちのプレー機会を増やし、経験をつませることで、さまざまな局面における対応力を養い、試合の中で個人の能力を高めていくことができるのである。

2. インタビュー調査の結果と考察

賛成の意見では、デメリットも把握しているが、メリットを強調している。反対の意見では、メリットも把握しているが、デメリットを強調している。8 人制サッカーを根本的に否定している指導

者は少なかった。結果は表 1 の通りである。

表 1 インタビュー調査結果

①8人制サッカーには賛成か反対か	賛成7人	反対5人
②8人制サッカーのデメリットとは何か	個人の能力で勝敗が決まりやすい	4人
	クラブチームと街クラブの環境の違い	3人
	指導者の不足	2人
	8人制サッカーから11人制サッカーへの移行の不安	2人
	審判の問題	1人
③8人制サッカーのメリットとは何か	プレーに関わる回数の増加	4人
	ゴール前の攻防の増加	3人
	試合出場機会の増加	3人
	ゴールへ向かうプレーの増加	2人
④指導方法は変わったか	変わった6人	変わっていない6人
⑤指導方法が変わった理由	8人制サッカーでいかに勝つことができるかを考えるため	
	8人制サッカーだけで終わってしまう選手の育成方法になってしま	
⑥選手にとって8人制サッカーと11人制サッカーどちらがよいと思うか	8人制7人	11人制5人

3. 8 人制サッカーを最大限にいかした指導法

8 人制サッカーのよさを最大限にいかすためには、指導者の考え方と人的環境や物的環境の改善が重要である。指導者の考え方とは、8 人制サッカーで活躍できる選手を育成するのではなく、将来サッカーのうまい選手の土台を作ることである。人的環境では、大会に複数エントリーでき多くの試合を消化することができるが、指導者が不足しているチームは、複数のエントリーができない。そこでサッカーの経験があまりない保護者が指導者をしているという現状がある。これを改善するには JFA や地域の指導者が意識的に 8 人制サッカーのメリットを伝えていく必要がある。物的環境では、8 人制サッカーのメリットである試合数を増やし、経験をつまることが重要であるが、使用グラウンドがなく河川敷などゴールがないところで試合や練習しているチームも少なくない。これでは試合や練習の幅も狭くなる。そこで地域各地でサッカーができる場所をもっと整えて、より一層選手がプレーしやすい環境にするべきである。

結論

人的環境、物的環境、指導者の考え方を改善することにより、8 人制サッカーのメリットを最大限にいかすことができ、ますます日本サッカーの底上げ、成長につながるだろう。

引用・参考文献

公益財団法人日本サッカー協会

<http://www.jfa.or.jp/>, 2013/4/28 閲覧

小野剛 (2011 年), 8 人制ジュニアサッカーバイブル, 学研パブリッシング, 12~191 頁